

# 町田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

---

(2015 年度～2019 年度)



2015 年 12 月  
町田市

## 目次

### 総合戦略策定の考え方

1. 策定の背景.....	1
2. 人口ビジョンと基本目標の関係.....	2
3. 目標実現のための町田市独自の戦略的視点.....	4
4. 町田市の施策との関連性.....	5
5. 評価の考え方.....	7

### 基本目標

基本目標 1. 経済活動を盛んにする.....	8
基本目標 2. 人々が交流するまちづくりを推進する.....	12
基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる.....	16
基本目標 4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る.....	20

### 1. 策定の背景

町田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、町田市総合戦略）は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、並行して策定する「人口ビジョン」を踏まえ、地域の実情に応じた5ヵ年（2015～2019年度）の政策分野ごとの基本目標や施策の基本的方向、具体的な施策をとりまとめるものです。

とりまとめにあたっては、国が提示する「まち・ひと・しごと創生に向けた政策5原則（1）自立性、（2）将来性、（3）地域性、（4）直接性、（5）結果重視」に対応した施策を位置づけるものとします。

図-1 国が示す総合戦略の構成イメージ



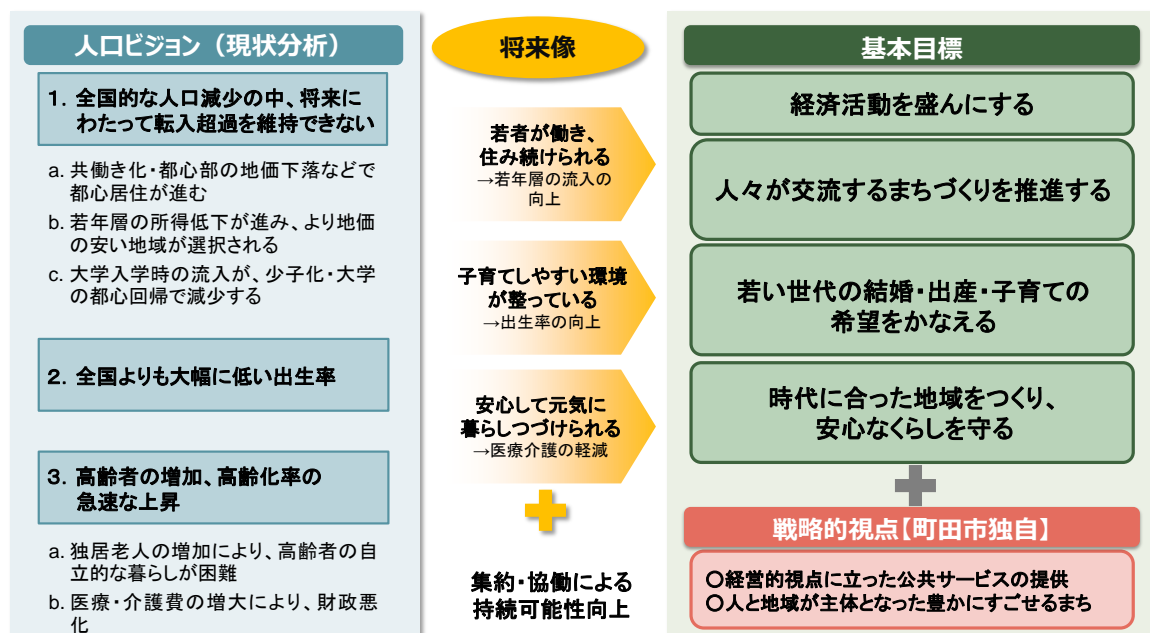
出所）内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「地方人口ビジョン・地方版総合戦略の策定に当たっての参考資料」

## 2. 人口ビジョンと基本目標の関係

町田市人口ビジョンの人口動向等の現状分析の結果からは、全国的な人口減少のなか、現在の転入超過を維持できない可能性があるだけでなく、全国と比較して出生率が低く、高齢者の増加とあいまって人口バランスが偏っていくことが想定されます。

こうした現状及び将来の課題を踏まえて、今後も人口を維持していくとともに、安心して暮らし続けられるまちづくりを目指します。そのための目標として、以下の4つの基本目標とその実現にあたっての2つの町田市独自の視点を設定して、具体的な施策とPDCAサイクルの構築を図ります。

図-2 町田市人口ビジョンと基本目標の対応



### **基本目標 1. 経済活動を盛んにする**

商業を中心とした産業の育成や起業の促進等を通じて、時代のニーズに応じたサービスを生み出し、地域で働ける環境をつくることで、地域の経済活動を盛んにし、活力のある地域を形成していきます。

### **基本目標 2. 人々が交流するまちづくりを推進する**

人々が集まる商業等の賑わい、文化芸術、スポーツ、地域づくりなど、地域資源を活かした町田発の取り組みを生み出す場や体制づくりを進め、多様な世代の活躍を実現します。また、これらの活動や交流の場を含むまちの魅力を発掘、創造、発信していき、多様な世代の活躍、交流を拡大していきます。

### **基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる**

若い世代の結婚から出産、子育てなどの家庭を支えるための切れ目のない取り組みを進め、共働きでも仕事と両立しながら子育てしやすい環境、希望どおり子どもが持てる環境をつくります。

### **基本目標 4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る**

健康づくりの拠点や支援体制の構築とともに、良好な住環境の形成を促進し、健康で充実して暮らせるまちづくりを進めます。また、限られた行政財源の下、市内の公共交通の質の向上と公共施設の拠点への集約を進め、日常生活の利便性を維持向上させていきます。

### 3. 目標実現のための町田市独自の戦略的視点

町田市が抱える大きな課題として、過去の急速な都市化に起因する急速な高齢化と施設の老朽化の進行による財政負担の急増によって、市の財政が悪化して、公共サービスの水準が低下、更なる人口減少と民間サービスの減少の悪循環に陥る懸念があり、市の施策に加えて、住民や事業者をはじめ、関係する主体が協働して取り組む必要があります。

そこで、4つの基本目標とその実現のための施策については、以下の2つの視点を考慮して実施していきます。

#### **戦略的視点 1. 経営的視点に立った公共サービスの提供**

公共施設の民間への開放、適切な利用者負担、多様な主体の協働などにより効率的、効果的なサービスを提供していきます。

#### **戦略的視点 2. 人と地域が主体となった豊かにすごせるまち**

多様な主体が協働して生活を豊かにする場をつくり、多様な人々の交流や活動が生まれる、豊かな暮らしを実現していきます。

#### 4. 町田市の施策との関連性

町田市総合戦略（2015年度～2019年度）策定にあたっては、現在の市の基本計画である「まちだ未来づくりプラン（2012年度～2021年度）」とその実施計画である「町田市新5ヵ年計画（2012年度～2016年度）」を踏まえながら、2015年4月、町田市未来づくり研究所で提言された市のグランドデザイン「まちだニューパラダイム 2030年に向けた町田の転換」の考え方も参考に、「次期5ヵ年計画（※）（2017年度～2021年度）」にも反映可能な施策を盛り込んでいくものとしします。

表-1 市の施策と総合戦略の期間の関係

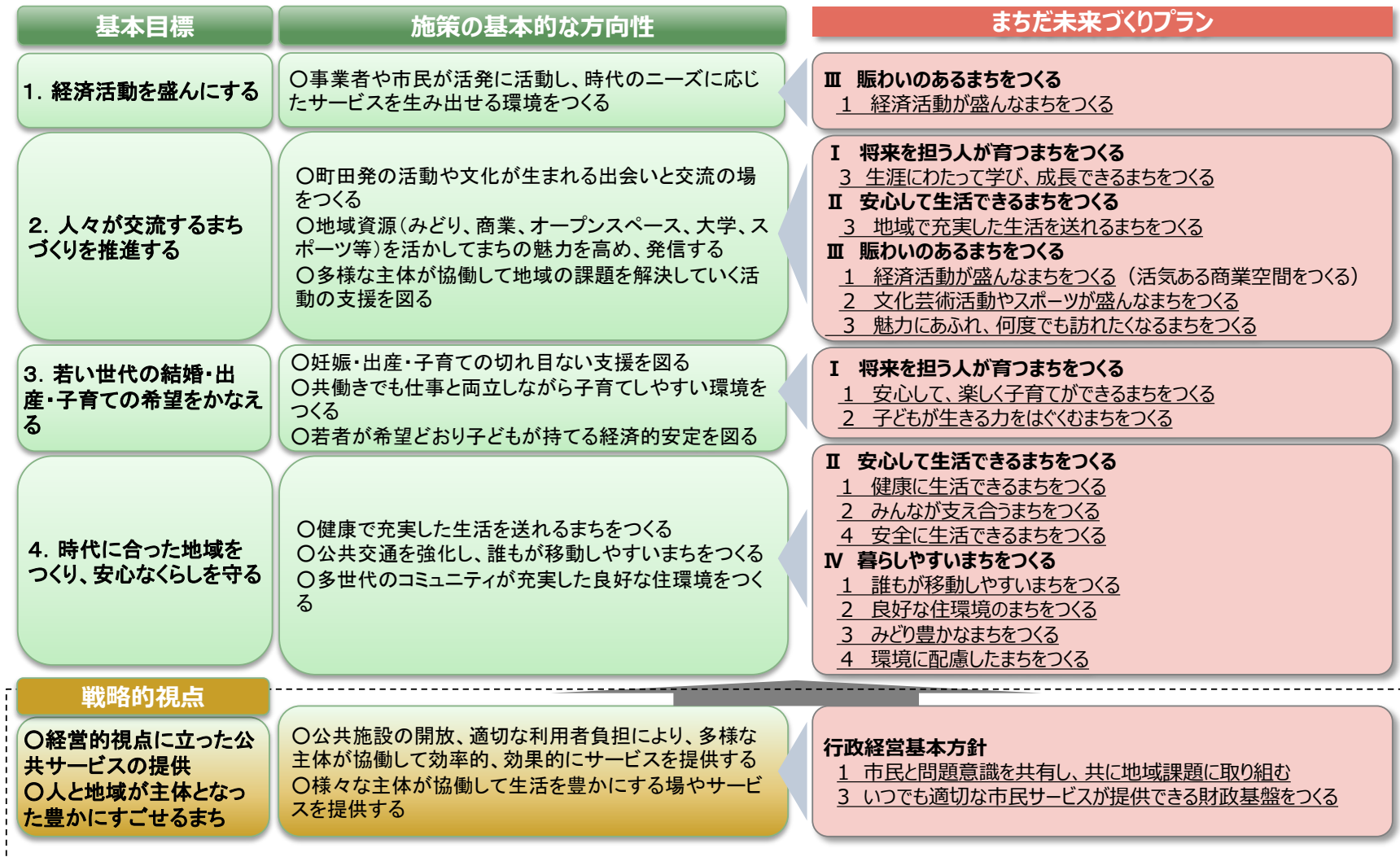
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
まちだ未来づくりプラン	→						
町田市新5ヵ年計画	→						
次期5ヵ年計画	考慮 ↓		↑ 反映	→			
町田市総合戦略	策定	→					

図-3 関係図



※「次期5ヵ年計画」は、まちだ未来づくりプランで示した方向性を具体化するための5ヵ年（2017年度から2021年度まで）の実施計画の仮称です。

図-4 町田市の施策と本総合戦略の関係性





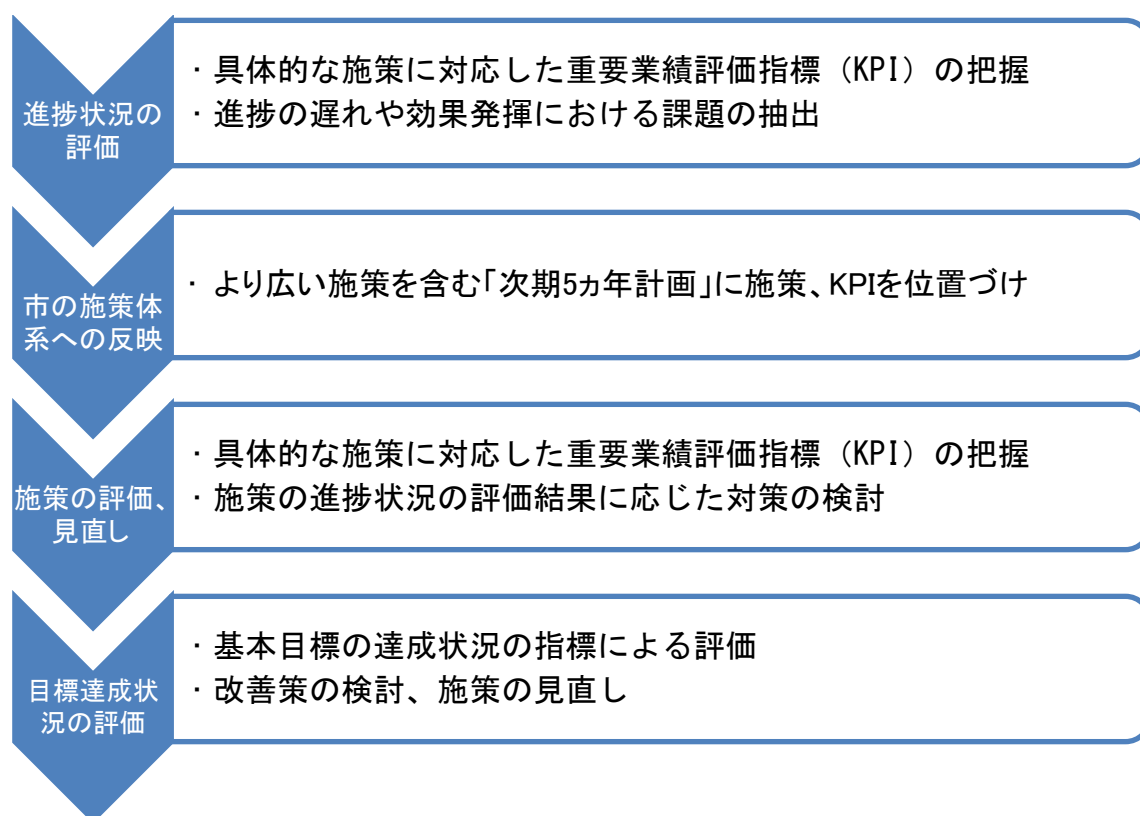
## 5. 評価の考え方

町田市総合戦略の目標設定は、今回設定した4つの基本目標ごとに5年後の数値目標及び施策の重要業績評価指標（KPI）（※）を設定し、年度ごとに施策の実施状況及び目標達成状況を検証していきます。2017年度以降は、市の施策の実施計画である次期5ヵ年計画に町田市総合戦略の方向性が反映されることから、町田市総合戦略の評価は次期5ヵ年計画の評価の中で年度ごとに検証していくものとします。

なお、新5ヵ年計画及び次期5ヵ年計画は、社会情勢の変化などに対応するため、追加が必要な施策を主要事業などとして別途位置づけています。町田市総合戦略の目標実現のため、具体的な施策として反映が必要な施策にあっては、町田市総合戦略に追加して取り組みを進めます。

※重要業績評価指標（KPI）：Key Performance Indicator の略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう。

図-5 施策の評価・見直しの考え方



## 基本目標 1. 経済活動を盛んにする

### 現状の課題

- ・ 町田市では、若年層の 23 区への転出が多い現状と今後の地価下落、共働きの増加などによる都心回帰の増加により転出が拡大する恐れがあります。
- ・ 今後、町田市よりも安価に住宅を取得できる地域が居住地として選択される可能性が高まるとともに、少子化や大学の都心への転出などによって、大学入学期の町田市への人口の転入も減少する恐れがあります。
- ・ 近隣駅周辺や幹線道路沿い等への大型商業施設の立地、後継者の不足などによる商店街の活力の低下などにより、町田駅周辺の商業の賑わいが低下していくことが懸念されます。

### 目指す姿

- ・ 町田市は市外からも買い物客を引き付ける都内有数の拠点として、商業や教育などの消費者向けサービスに強みを有してきたことを活かして、今後の時代のニーズに応えられるサービスが提供され、町田市ならではの起業や商業の魅力が生まれている。

### 5年後の数値目標

指標名	現状値	目標値	資料
事業所数	11,883 (2012 年)	12,000	経済センサス
従業者数	126,283 人 (2012 年)	127,000 人	経済センサス
卸売・小売業販売額	5,330.8 億円 (2012 年)	5,331.0 億円	経済センサス

## ■ 講ずべき施策の基本的な方向性

市の中心的な産業である商業等の消費者向けサービスを伸ばすとともに、今後の時代のニーズに応じた起業・創業支援、企業誘致等を推進し、経済の活性化を図るため、以下の取り組みを進めます。

### ○事業者や市民が活発に活動し、時代のニーズに応じたサービスを生み出せる環境をつくる

市内事業者の事業の拡大、市内への企業の進出が図られるよう、起業・創業、事業者間の連携等を活性化する事業支援体制の強化を図ります。

上記を通じて、若者、子育て中の女性が市内で就業できる環境を確保するとともに、市内の商業拠点の魅力向上につながる環境整備を進めていきます。

## ■ 具体的な施策と重要業績評価指標

### ■ 起業・創業の支援

具体的な施策	創業に必要な支援（個別相談、セミナーの開催）の実施		
重要業績評価指標（K P I）	1年間に市内で起業した事業所の数		
現状値	375 件／年 (2014 年度)	目標値	430 件／年
主な事業	創業支援事業		

### ■ 企業・事業所誘致の推進

具体的な施策	企業・事業所の立地を促進		
重要業績評価指標（K P I）	誘致した企業・事業所数		
現状値	0 件 (2014 年度)	目標値	16 件
主な事業	企業誘致推進事業		

■ものづくり産業の支援

具体的な施策	中小企業者の販路拡大及び技術の向上の促進		
重要業績評価指標（K P I）	①産業見本市出展補助件数 ②特許・実用新案権取得補助件数		
現状値	① 10 件／年 (2014 年度) ② 7 件／年 (2014 年度)	目標値	① 12 件／年 ② 9 件／年
主な事業	ものづくり産業支援事業		

具体的な施策	中小企業者が生産する新規性の高い優れた商品の販路拡大の支援		
重要業績評価指標（K P I）	新規認定商品の認定数		
現状値	14 件 (2014 年度)	目標値	35 件
主な事業	トライアル発注商品認定事業		

■商店街の活性化支援

具体的な施策	商店会などが実施するイベントや活性化事業に対する支援		
重要業績評価指標（K P I）	①商店会等のイベント事業実施件数 ②商店会等の活性化事業実施件数		
現状値	① 48 件／年 (2014 年度) ② 0 件／年 (2014 年度)	目標値	① 50 件／年 ② 4 件／年
主な事業	商店街活性化支援事業		

■ 農業事業者の経営の支援

具体的な施策	農畜産物の増産に向けた取り組みへの支援、担い手の確保・定着に向けた支援		
重要業績評価指標（K P I）	年間支援数		
現状値	0 件／年 (2014 年度)	目標値	2 件／年
主な事業	都市農業経営パワーアップ事業（都市農業活性化支援事業）		

■ 農とふれあう場や機会の提供

具体的な施策	町田産農産物の PR を推進		
重要業績評価指標（K P I）	まちベジマーク（※）使用店数		
現状値	28 店 (2014 年度)	目標値	50 店
主な事業	地産地消推進事業		

※町田産農産物シンボルマーク

## 基本目標 2. 人々が交流するまちづくりを推進する

### 現状の課題

- ・ 全国的な人口減少のなか、町田市は人口増加を維持していますが、その人口流入が減少傾向にあります。
- ・ 近隣駅や郊外への商業機能の集積により、駅周辺の賑わいが低下する恐れがあります。
- ・ 高齢化が進行するなか、地域活動の担い手が減少し、まちの活力の減退とともに、福祉や防災活動にも支障を来す恐れがあります。
- ・ 高齢化に伴う町内会や自治会等の地縁型組織の人材不足から、NPO 等のテーマに応じた活動との連携が求められます。
- ・ 南町田駅周辺の再整備や 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催、市内の活発なスポーツや文化活動の存在や大学の集積といった地域資源を活かし、市内外の人々が活発に交流できるまちづくりを進め、選ばれる都市としての情報発信を合わせて実施していく必要があります。

### 目指す姿

- ・ 市内のみどり・オープンスペースなどを活用して、市内外から多くの人々が訪れ、交流できる場生まれ、文化芸術やスポーツの活動、地域の課題を解決する活動などに、子どもから高齢者まで幅広い市民が参加し、地域の活動の担い手となっている。

### 5年後の数値目標

指標名	現状値	目標値	資料
社会増減数	860 人 (2014 年)	1,883 人	住民基本台帳人口移動報告
滞在人口（休日）	70,370 人 (2014 年)	72,000 人	地域経済分析システム
町内会・自治会などの地域活動に参加している市民の割合	41.0% (2014 年度)	50.0%	市民意識調査

## ■ 講ずべき施策の基本的な方向性

多世代交流、官民連携体制の構築、町田市の地域資源を活かした交流人口の増加を図るため、以下の取り組みを進めます。

### ○町田発の活動や文化が生まれる出会いと交流の場をつくる

市内の拠点や住宅地において、公的空間も活用しながら、市民やNPO、事業者等が活動し、交流できる空間を確保していきます。

### ○地域資源（みどり、商業、オープンスペース、大学、スポーツ等）を活かしてまちの魅力を高め、発信する

地域資源を活かしながら、市内外の人々が交流活動を展開し、町田市の魅力を市内外に発信していきます。

### ○多様な主体が協働して地域の課題を解決していく活動の支援を図る

市民や事業者が連携して、商業の活性化、多世代コミュニティによる高齢者の見守りや子育て、地域の魅力を高める活動等に取り組みます。

## ■ 具体的な施策と重要業績評価指標

### ■ 文化芸術活動の振興

#### ■ 良質な文化芸術にふれる機会や場の提供

具体的な施策例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック文化プログラムを策定し、文化イベントを実施</li> <li>・来街者が多様な楽しみや感動を味わうことができるような取り組み及び新たな文化拠点を創出</li> </ul>		
重要業績評価指標（KPI）	市内で文化芸術にふれる機会を持つことができた市民の割合		
現状値	23.9% (2014年度)	目標値	39.0%
主な事業	オリンピック文化プログラム推進事業 工芸美術館整備事業 文化芸術ホール整備事業 芸術文化イベント推進事業		

■スポーツ活動の振興

具体的な施策	スポーツにふれる機会の充実		
重要業績評価指標（K P I）	市内でスポーツにふれる機会を持つことができた市民の割合		
現状値	24.3% (2014 年度)	目標値	40.0%
主な事業	野津田公園整備事業 スポーツ広場・学校開放制度再編成事業		

■まちの魅力の創造と向上

具体的な施策	東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地を招致し、市全体を活性化		
重要業績評価指標（K P I）	オリンピックキャンプ地招致		
現状値	—	目標値	オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致
主な事業	オリンピックキャンプ地等招致事業		

具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光まちづくりを推進し、市内イベントを振興</li> <li>・薬師池公園四季彩の杜の地域全体の魅力向上</li> </ul>		
重要業績評価指標（K P I）	観光入込客数（延べ）		
現状値	544 万人 (2014 年)	目標値	653 万人
主な事業	観光行事推進事業 観光まちづくり推進事業 外国人観光客等受入環境整備事業 にぎわい空間創出推進事業 観光コンベンション振興事業 薬師池公園四季彩の杜整備事業		



■ まちの魅力を活かした観光の推進

具体的な施策	地域の特性を活かした観光の推進		
重要業績評価指標（K P I）	小野路宿里山交流館年間利用者数		
現状値	36,140 人 (2014 年度)	目標値	38,000 人
主な事業	小野路宿里山交流館 観光まちづくり推進事業		

■ シティプロモーションの推進

具体的な施策	市民が愛着を持ち、市外からも人々を惹きつけるシティプロモーションの推進		
重要業績評価指標（K P I）	町田市に対して愛着や親しみを感じている市民の割合		
現状値	64.7% (2014 年度)	目標値	71.3%
主な事業	シティプロモーション事業 シティセールス事業		

具体的な施策	ふるさと納税の促進を通じ、町田市を PR		
重要業績評価指標（K P I）	寄附件数		
現状値	14 件 (2014 年度)	目標値	1,200 件
主な事業	ふるさと納税促進事業		

■ 地域の交流の促進

具体的な施策	地域の課題を地域自らが主体的に解決できる地区協議会・NPOなどの活動支援		
重要業績評価指標（K P I）	地区協議会・NPOなどの活動に参加した人数		
現状値	—	目標値	1,050 人
主な事業	市民協働・地区協議会支援事業 町内会・自治会支援事業 地域総働推進事業		

### 基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### ■ 現状の課題

- ・ 全国に比べて町田市の合計特殊出生率は低く、人口流入の減少、高齢化が進行しています。
- ・ 人口バランスを維持していく必要があります。
- ・ 共働きの増加などを背景とする保育需要の高まりや待機児童の未解消に対応していくことが課題です。また、少子化の一因と言われる未婚化や晩婚化、子育てや教育費用などの経済的負担や母親の子育てにかかる時間、核家族化や人間関係の希薄化による心理的負担も課題となっています。

#### ■ 目指す姿

- ・ 若い世代が働きやすく、地域で安心して出産・子育てができる環境が実現している。

#### ■ 5年後の数値目標

指標名	現状値	目標値	資料
合計特殊出生率	1.24 (2014 年)	1.28	東京都福祉保健局「人口動態統計」
子育てが楽しいと感じる保護者の割合	79.3% (2014 年度)	85.0%	市民意識調査
待機児童数	153 人 (2015 年 4 月 1 日)	0 人	子ども生活部資料

## ■ 講ずべき施策の基本的な方向性

子育ての負担の軽減（助成や移動等の軽減（職住近接等））、子育て相談・支援拠点の充実を図るため、以下の取り組みを進めます。

### ○妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を図る

市内で医療、保育等が量的にも充分確保され、困ったときに相談できる体制を構築していきます。

### ○共働きでも仕事と両立しながら子育てしやすい環境をつくる

公的サービス、多様な主体による子育て支援を受けやすい環境を確保していきます。

### ○若者が希望どおり子どもが持てる経済的安定を図る

医療・教育等の子どもにかかる経済的負担を抑制し、安心して子育てできる環境の形成を支援していきます。

## ■ 具体的な施策と重要業績評価指標

### ■ 多様な保育・幼児教育の充実

具体的な施策	認可保育所等の整備支援		
重要業績評価指標（K P I）	保育サービス定員		
現状値	7,237 人 (2015 年 4 月 1 日)	目標値	8,147 人
主な事業	民間保育所整備支援事業 認定こども園整備費補助事業		

具体的な施策	駅前に送迎保育ステーションを設置		
重要業績評価指標（K P I）	年間延べ利用者数		
現状値	—	目標値	1,000 人
主な事業	送迎保育ステーション事業		

■子育てに関する相談・支援体制の充実

具体的な施策	子育て家庭が相談しやすい環境を整備し、養育不安を解消		
重要業績評価指標（K P I）	育児について困ったとき、気軽に相談できる人や場がある保護者の割合		
現状値	97.9% (2014 年度)	目標値	100%
主な事業	出産・子育て応援事業 マイ保育園事業 地域子育て相談センター事業 子ども家庭支援センター事業		

■楽しく学べる教育の充実

具体的な施策	児童、生徒の思考力・判断力・表現力を高める授業を推進		
重要業績評価指標（K P I）	子どもに充実した学校教育を受けさせることができていると感じる保護者の割合		
現状値	46.8% (2014 年度)	目標値	56.8%
主な事業	小中一貫教育推進事業		

■豊かな体験・交流ができる機会の充実

具体的な施策	青少年が健やかに成長できるよう、学童保育クラブ、子どもセンター、冒険遊び場（※）などの充実		
重要業績評価指標（K P I）	今住んでいる地域が、子どもが安全で健やかに育つ環境になっていると感じる保護者の割合		
現状値	46.2% (2014 年度)	目標値	50.0%
主な事業	学童保育クラブ整備事業 子どもの居場所づくり推進事業 冒険遊び場補助事業 子どもセンター整備事業		

※自然を残す広場などでプレーリーダーの指導のもと、子どもが自己の責任で遊ぶことができる場をいいます。

■地域と学校の連携強化

具体的な施策	ボランティアを活用した授業や学校行事の展開		
重要業績評価 指標（K P I）	①ボランティアコーディネーター配置人数 ②ボランティア活動者数		
現状値	① 99 人 (2015 年度) ② 16,684 人 (2014 年度)	目標値	① 100 人 ② 18,500 人
主な事業	学校支援センター事業		

## 基本目標 4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る

### 現状の課題

- ・ 町田市は、鉄道が市域の外縁部を通っているため、市域の中央部は、バスが公共交通の中心となっています。
- ・ 自家用車の利用への依存の高さなどから、慢性的に交通渋滞が発生する箇所もあります。また、歩道や自転車の走行空間が整備されていない道路があるなどの交通面に課題を抱えています。
- ・ 市内に数多く存在する住宅団地では高齢化が進行し、買い物等利便性が低い地域では日常生活に支障を来たすことから多くの空き家の発生が懸念されます。
- ・ 今後、独居高齢者が急増していくことを見据えると、公共交通の利便性の維持向上に加え、多世代によるコミュニティを形成し、高齢者が生きがいを持って健康に暮らせるまちづくり、相互に助け合いながら暮らせるまちづくりが必要となります。
- ・ 今後の高齢化に伴う医療介護負担や老朽化する公共施設の維持更新費用によって町田市の財政状況は悪化の一途をたどることが予測されています。これに対応して、行政、市民、事業者等が協働して公共サービスを担うほか、公共施設の集約化や空き施設の有効活用などが求められます。地域の特性を活かしたまちづくりに取り組む地域の増加、北部丘陵のまとまったみどりやインフラの充実した良好な住宅地などの地域資源を活かしながら、良好な住環境を確保し、選ばれる郊外都市を目指していくことが必要です。
- ・ 市民の治安への実感は改善してきていますが、駅前繁華街で感じる治安の悪さは依然として課題となっています。

### 目指す姿

- ・ みどり豊かで良好な住宅地のなかで健康的に暮らせる。
- ・ 市内の拠点への公共交通が充実し、公共サービスが民間事業者や地域の担い手により身近な場所で提供され、日常生活の利便性が確保されている。
- ・ 市民一人ひとりの防災意識が高まり、家庭での災害への備えや地域での助け合いができている。
- ・ 市民、市、警察が連携して犯罪対策を行い、市民が安全に生活している。

## ■ 5年後の数値目標

指標名	現状値	目標値	資料
65 歳健康寿命（要支援 1） （※）	男性：81.36 女性：82.36 （2013 年）	男性：82.00 女性：83.00	東京都福祉保健局
自動車での移動の際、交通の流れに満足している市民の割合	31.1% （2014 年度）	35.0%	市民意識調査
食料品や日用品などの買い物の利便性に満足している市民の割合	59.5% （2014 年度）	65.0%	市民意識調査
治安が良いと感じる市民の割合	47.2% （2014 年度）	50.0%	市民意識調査

※65 歳健康寿命（東京保健所長会方式）＝65 歳＋65 歳の人が要介護認定を受けるまでの期間の平均

## ■ 講ずべき施策の基本的な方向性

健康づくりの支援、高齢者支援、移動手段の確保、多世代コミュニティの形成、防災、防犯対策の推進を図るため、以下の取り組みを進めます。

### ○健康で充実した生活を送れるまちをつくる

市内の各地域に健康づくりの拠点や支援体制を構築し、高齢者への医療介護等のサポートを地域と一体となって提供するほか、高齢者が生きがいを持って暮らせる活動を促進します。

### ○公共交通を強化し、誰もが移動しやすいまちをつくる

市内の公共交通の質を高め、日常生活の利便性を維持向上していきます。

### ○多世代のコミュニティが充実した良好な住環境をつくる

団地や公共施設の空き空間などを活用しながら、多世代のコミュニティ形成を促進する活動やその場を確保し、相互に助け合いながら地域の住環境を高めていきます。

## ■ 具体的な施策と重要業績評価指標

### ■ 健康づくりの支援

具体的な施策	健康的な生活習慣づくりの推進、健康診断の受診推進、健康に関する相談、地域保健体制の強化		
重要業績評価指標（K P I）	日常生活の中で健康に気をつけている市民の割合		
現状値	49.1% (2014 年度)	目標値	60.0%
主な事業	地域保健普及啓発事業 成人健診事業 健康づくりフェア事業 体育館等各種スポーツ教室		

### ■ 路線バスの利用環境の整備

#### ■ 鉄道・路線バスを補完する交通手段の充実

具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 路線バスの利用環境の充実</li> <li>・ 鉄道や路線バスが運行されていない地域の移動環境の向上</li> </ul>		
重要業績評価指標（K P I）	公共交通の利便性に満足している市民の割合		
現状値	47.7% (2014 年度)	目標値	50.0%
主な事業	路線バス利用促進事業 地域コミュニティバス運行事業		

### ■ 商業拠点の戦略的な整備

具体的な施策	商業・業務、文化・芸術などの都市機能の充実		
重要業績評価指標（K P I）	中心市街地の歩行者通行量		
現状値	600,171 人 (2014 年度)	目標値	600,000 人
主な事業	中心市街地整備事業		



■南町田駅周辺の拠点整備の推進

具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴間公園と商業地を中心とした賑わいと交流の促進</li> <li>・歩行者ネットワークの形成</li> <li>・多様な住環境を創出</li> </ul>		
重要業績評価指標（K P I）	南町田駅乗降客数		
現状値	33,677 人／日 (2014 年度)	目標値	40,800 人／日 (2020 年度) ※拠点整備事業の竣工目途である 2020 年度で設定
主な事業	南町田駅北口広場築造事業 南町田駅南北自由通路整備事業 南町田駅周辺地区拠点整備事業		

■交通拠点のターミナル機能の充実

具体的な施策	鶴川駅周辺の交通利便と生活環境等の増進		
重要業績評価指標（K P I）	公共交通の利便性に満足している鶴川地区の市民の割合		
現状値	40.2% (2014 年度)	目標値	45.0%
主な事業	鶴川駅周辺街づくり事業		

■市民の防災意識の向上

具体的な施策	市民の自主的な活動の核となる自主防災組織リーダーの育成及び自主防災組織の災害対応能力の向上		
重要業績評価指標（K P I）	自主防災組織リーダー及びフォローアップ講習会参加者数		
現状値	255 人 (2014 年度)	目標値	400 人
主な事業	自主防災リーダー育成事業		

## ■災害への備えの強化

具体的な施策	消えないまちだ君（※）の整備促進		
重要業績評価指標（K P I）	消えないまちだ君の整備路線の延長（累計）		
現状値	2,700m (2014 年度)	目標値	11,000m
主な事業	消えないまちだ君整備促進事業		

※町田市内の中小企業者と共同で製品開発を行った停電時でも点灯し続ける街路灯です。夜間の災害停電時でも道路や避難所の照明を点灯させ、市民の避難の安全を確保することで、安心・安全なまちづくりを促進しています。

具体的な施策	マンホールトイレの整備促進		
重要業績評価指標（K P I）	マンホールトイレ設置箇所数		
現状値	4 箇所 (2014 年度)	目標値	36 箇所
主な事業	污水管渠整備事業		

## ■防犯対策の推進

具体的な施策	体感治安の改善・市民の防犯意識の向上		
重要業績評価指標（K P I）	協働パトロール隊パトロール回数		
現状値	56 回 (2014 年度)	目標値	56 回
主な事業	協働パトロール隊推進事業		

## ■治安やマナーの向上

具体的な施策	小学校の通学路に防犯カメラを設置し、犯罪等を抑止		
重要業績評価指標（K P I）	通学路に防犯カメラを設置した市立小学校数		
現状値	1 校 (2014 年度)	目標値	42 校
主な事業	小学校通学路防犯カメラ整備事業		

■多様な住まいを確保する

具体的な施策	安心して快適に住み続けられる住宅づくりの支援、団地の生活環境の充実		
重要業績評価指標（K P I）	町田市団地再生基本方針の推進		
現状値		目標値	推進
主な事業	住宅計画策定推進事業 大学連携による学校跡地活用		

---

# 町田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

2015年12月発行

---

発行者	町田市
	〒194-8520
	東京都町田市森野2-2-22
編集	政策経営部企画政策課
印刷	庁内印刷
刊行物番号	15-66

---